

【水の恵み】

福岡県 北九州市立洞北中学校

三年 恵良 夏帆

私の祖父母の家の周りには、自然が広がっています。山や田んぼ、畑に囲まれて、のどかな雰囲気があります。その中でも遠賀川につながる水源の川の一つであり、見るからに透明で透き通っていて、とても綺麗な川が私の自満です。川の中を覗くと、メダカなどの魚たちやかにやタニシなどの生き物を見ることができます。綺麗な水でしか育たないクレソンなども生息しています。私が幼かった頃には、その川で水遊びなどを楽しんでいました。

ですが、数年前、すぐ近くで県道を作る大規模なトンネル工事が行われ、水の流れが一変してしまいました。それが原因で、水の流れが止まってしまった場所もあり、祖父母が育てていたわさびを育てることができなくなってしまうしました。わさびは綺麗な水が常にないと成長することができません。水の流れが変わったことによって、今まで作っていたものが作れなくなってしまうという悲しい出来事が起こりました。

他にも祖父母が作っているものがあり、そのお米や野菜は甘くて美味しいです。これも綺麗な川の水のおかげだと思います。ですが、川の水が激減してしまったせいで、お米や野菜の栽培も大変になりました。あまりにも工事の影響が大きかったため、地域の皆さんがさまざまな工夫や努力をされました。たとえば、タンクでかなり深いところの地下水を汲み上げたり、また別の水源からの水の流れを作ったりしていました。その努力や、天候の恵みなどもあって、最近また水の流れがもとに戻りつつあります。残念ながらわさびは作れなくなりましたが、また美味しいお米や野菜がたくさん採れるようになりました。他にも、一時はできなくなっていた、私が好きだった川遊びなども出来るような環境に戻りました。つい最近川の水の中を覗くと、メダカが元気に泳いでいる姿を見ることができ、とても嬉しく感じました。

今回の、自分にとっても身近だった出来事を通して、私は水の大切さについて考えることができました。近年の米不足なども原因が水だったり、世界

での貧困の原因が水だったりと、私たちが生きていくうえで水の重要性を改めて強く感じました。自分たちが生活していくために必要な水を守るために、自分なりにできることをしていきたいと思っています。